

平成 26 年
都産技研の利用に関する調査
アウトカム
評価報告書



平成 27 年 4 月

はじめに

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、平成18年4月に全国の公設試験研究機関に先駆けて地方独立行政法人化し、今年度は設立10年目を迎えます。今後とも地方独立行政法人としてのメリットとスタンスを生かして、機動的かつ柔軟な事業運営を展開し、依頼試験、技術相談、機器利用、共同研究などさまざまな事業を通じて、企業の皆さまに、より良い支援を提供してまいります。

都産技研をご利用いただいている企業の皆さまのより一層のお役に立てるよう、ご利用に関する要望・意見などをお伺いする「都産技研の利用に関する調査」を先般実施いたしました。今回は4,741名の皆さまにアンケートを依頼し、2,700名からご回答をいただきました。

調査の結果は、都産技研の事業運営や支援方法の改善を図る資料として、大いに活用させていただきます。

調査にご理解とご協力をいただきました企業の皆さま方に心より御礼申し上げますとともに、今後とも都産技研の一層のご利用をお願い申し上げます。

平成27年4月
地方独立行政法人
東京都立産業技術研究センター
理事長 片岡正俊

目 次

1. 調査概要.....	1
1.1 調査目的.....	1
1.2 調査対象.....	1
1.3 調査方法.....	1
1.4 調査内容（調査用紙の項目）.....	1
1.5 回収結果.....	1
2. 調査結果.....	2
2.1 都産技研利用のきっかけ.....	2
2.2 情報提供について.....	3
2.3 都産技研の利用実態について.....	4
2.3.1 技術相談.....	5
2.3.2 依頼試験.....	8
2.3.3 機器利用.....	11
2.3.4 講習会・技術セミナー.....	14
2.3.5 オーダーメイド開発支援.....	17
2.3.6 利用状況まとめ.....	20
2.4 都産技研の利用による経済効果.....	21
2.5 今後の利用意向及び要望.....	25
2.6 興味や関心のある分野・事業(サービス).....	28
3. 総括.....	29
3.1 利用者からのご意見・ご要望.....	29
3.2 ご意見をもとに改善した例について.....	30
参考資料.....	31

1. 調査概要

1.1 調査目的

都産技研の利用企業等における、利用満足度やその活用実態、支援ニーズなどを把握し、都産技研の事業運営や支援方法の改善等に必要データを取得するために実施した。

1.2 調査対象

平成26年1月1日から平成26年12月31日までの間に、都産技研の各種事業を利用された企業等の社員の方で、個人情報の利用に同意いただいた方4,741名を対象とした。

1.3 調査方法

配布方法：調査用紙を郵送にて対象者へ配布

回収方法：記入した調査用紙を郵送またはFaxにて返送

期間：平成27年2月7日から平成27年3月13日まで

※途中督促はがき及び督促電話を実施

1.4 調査内容（調査用紙の項目）

- (1) 利用のきっかけについて
- (2) 情報提供について
- (3) 各事業の利用実態について
 - ・利用した事業の利用目的
 - ・利用した事業の目的達成度
 - ・利用した際の職員の対応
 - ・都産技研利用による経済効果
- (4) 興味関心や要望について
 - ・今後の利用意向と要望等
 - ・興味や関心のある事業(サービス)・分野

1.5 回収結果

2,700名の方から回答をいただいた。(回答率57.0%)

2. 調査結果

2.1 都産技研利用のきっかけ

都産技研を利用したきっかけをみると、「ホームページ」(1,088件、39.7%)、「自社(自校)の方からの紹介」(885件、32.3%)が多く、この2つで全体の7割以上を占めている。また、「その他」の回答が223件あるが、そのうち「以前から利用している」という旨の回答が、90件と多くなっている。

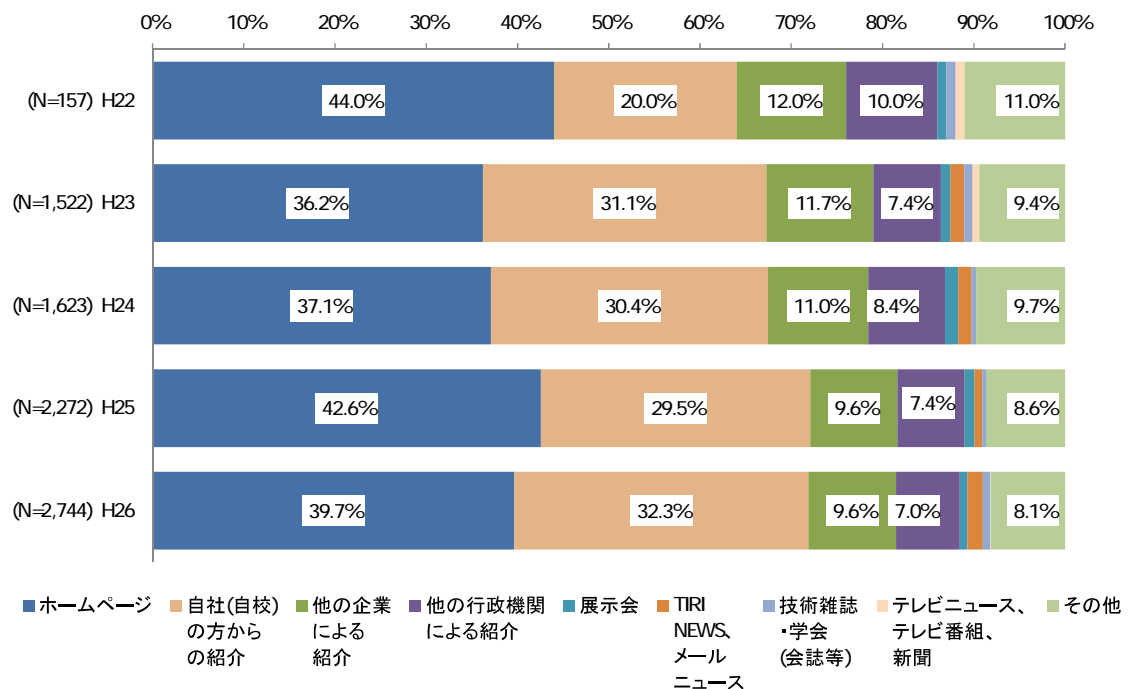
都産技研利用のきっかけ

回 答	件数	割合
ホームページ	1088	39.7%
自社(自校)の方からの紹介	885	32.3%
他の企業による紹介	263	9.6%
他の行政機関による紹介	192	7.0%
展示会	23	0.8%
TIRI NEWS、メールニュース	46	1.7%
技術雑誌・学会(会誌等)	22	0.8%
テレビニュース、テレビ番組、新聞	2	0.1%
その他	223	8.1%
合 計	2,744	100%

・「以前から利用している」:90件
 ・「知人(上司・同僚)の紹介」:32件
 ・「技術相談、工業技術情報センターetc.からの紹介」:20件

経年推移をみると、「ホームページ」がやや減少し、かわって「自社(自校)からの紹介」がやや増加してある。

都産技研利用のきっかけ(推移)



2.2 情報提供について

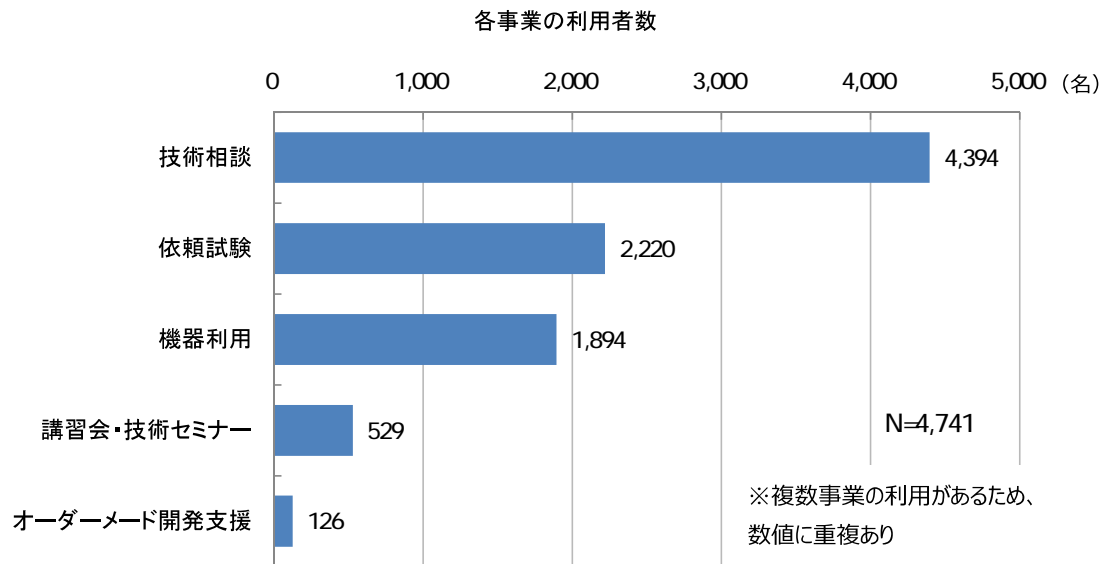
都産技研のホームページやメールニュースに対しては、396件の有効なコメントをいただいた。内容としては、メールニュースについては「利用している/役立っている」といった意見が多く、ホームページについては、「見やすくて良い」「分かりづらい/訂正が多い」という意見がある。また、「多種に渡る詳細な情報と内容の充実」「HP上で各種の予約ができ、空き情報が見れるとよい」といった意見も見られた。

情報提供についての要望コメント(一部抜粋)

- トップページで測定したいキーワードを入れると測定できる設備の一覧が出るとうれしい。
- 講習会・技術セミナー等の案内は、社員の教育等に役立っている。
- 調べたい内容から、目的の設備や、測定器が検索できるようなシステムがHPにあると便利。
- 依頼試験の利用状況、料金がわかるようにしてほしい。
- メールニュースの訂正が多いように思います。
- 予約状況のページが見つけにくかった。サイト検索などできるようにしてほしい。
- セミナー、講習に関しましては、品質管理、IT等なるべく多岐に渡りお願いします。

2.3 都産技研の利用実態について

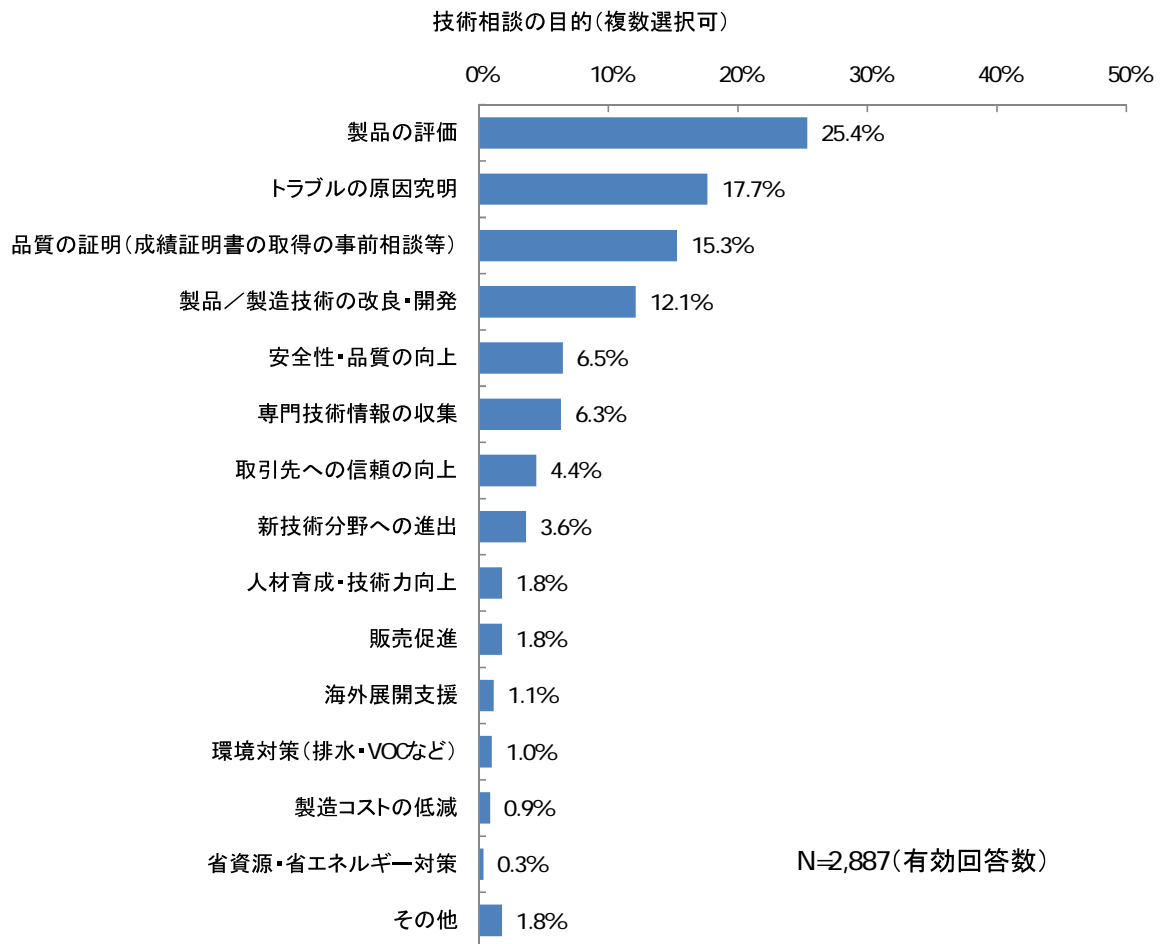
本アンケートの対象者である4,741名における平成26年に利用した都産技研利用事業の内訳は、「技術相談」が4,394名、「依頼試験」が2,220名、「機器利用」が1,894名、「講習会・技術セミナー」が529名、「オーダーメイド開発支援」が126名であった。



2.3.1 技術相談

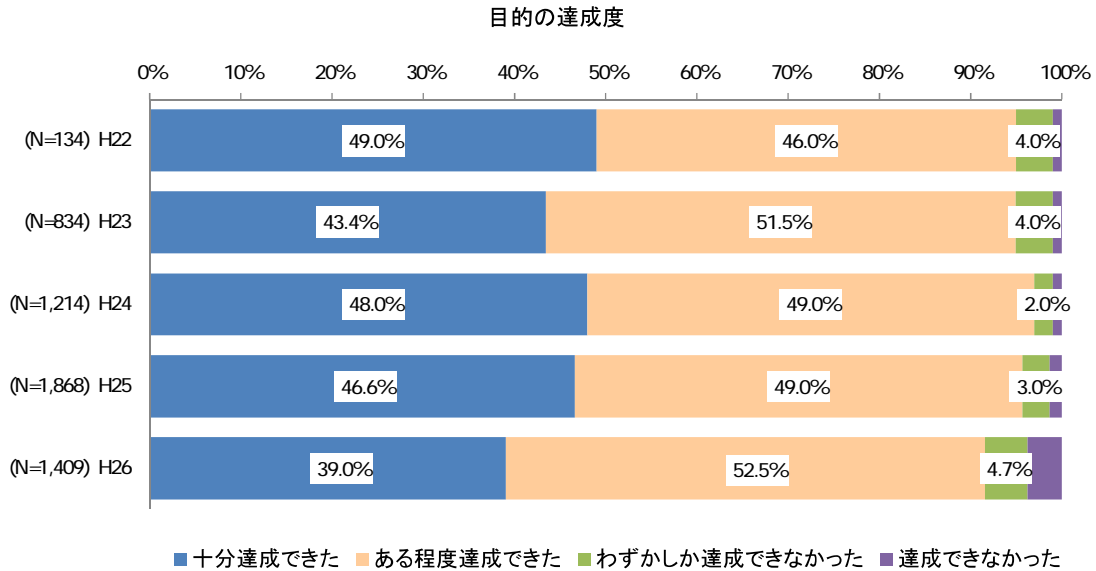
本設問では、「技術相談」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

技術相談の利用目的としては、「製品評価」(25.4%)が最も多く、次いで「トラブルの原因究明」(17.7%)、「品質の証明(成績証明書の取得の事前相談等)」(15.3%)とつづく。

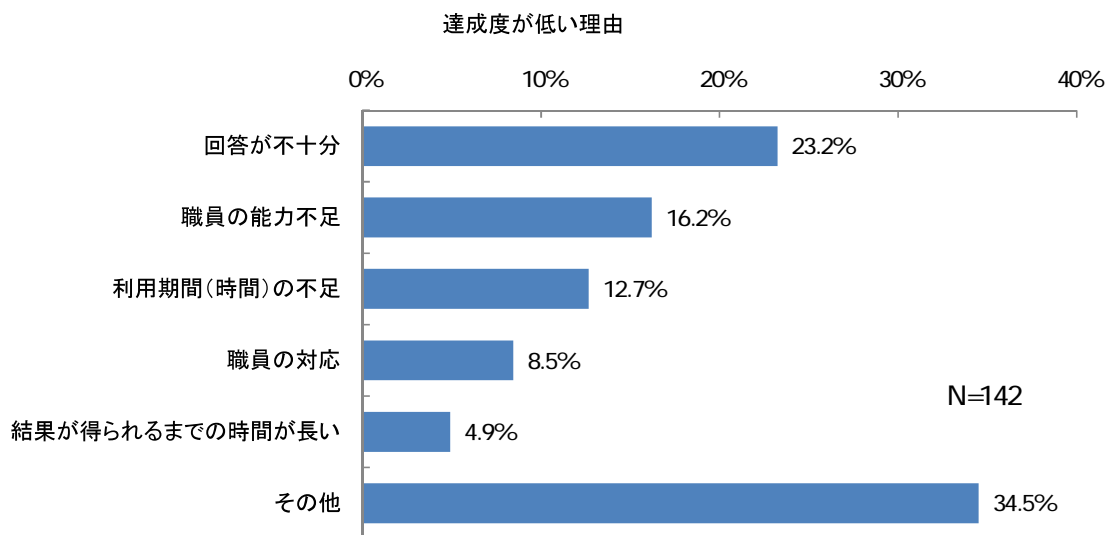


- 「その他」の記入例
- 繊維加工研修
 - 素材の相談と選定
 - 3D プリンタの利用
 - 共同開発
 - 分析機器使用
 - CE マーク取得に関して

技術相談の目的達成度は、「十分達成できた」が 39.0%、「ある程度達成できた」が 52.5%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の 95% 以上を占めている。経年推移をみると、「十分達成できた」が減少傾向にある。



目的達成度が「わずかししか達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「回答が不十分」(23.2%)、「職員の能力不足」(16.2%)、「利用期間(時間)の不足」(12.7%)が多くなっている。

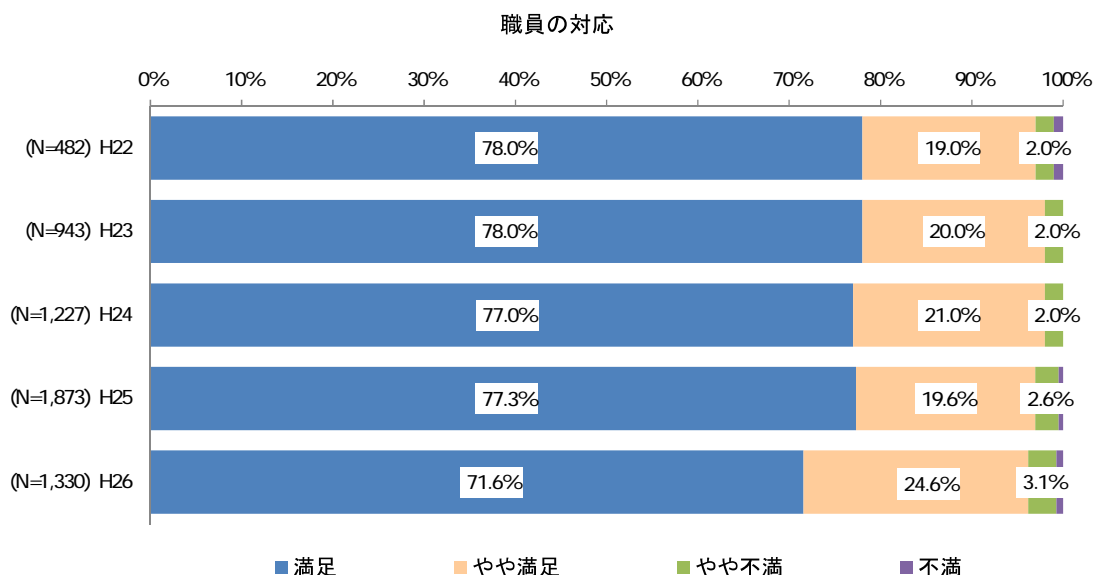


具体的な成果については、179 件の有効なコメントをいただいた。「課題を理解し、解決につながった」という意見が多く見られた。

- 技術相談利用による成果コメント(一部抜粋)**
- ある材料の製品への適用可否の判断の一助とさせていただいた。
 - 何について検証すべきかが具体化出来た。
 - 必要な知識、文献が得られた。
 - 治具の被服材質について相談させて頂き、良いアドバイスにより生産性が向上した。
 - 塗装不具合の原因を説明していただいた。
 - 弊社にとって新しい分野なので、参入に当たっての課題が明確になった。

技術相談の職員の対応をみると、「満足」が71.6%、「やや満足」が24.6%と、合計した約96%が満足と答えている。

経年推移をみると、「満足」が減少傾向にある。



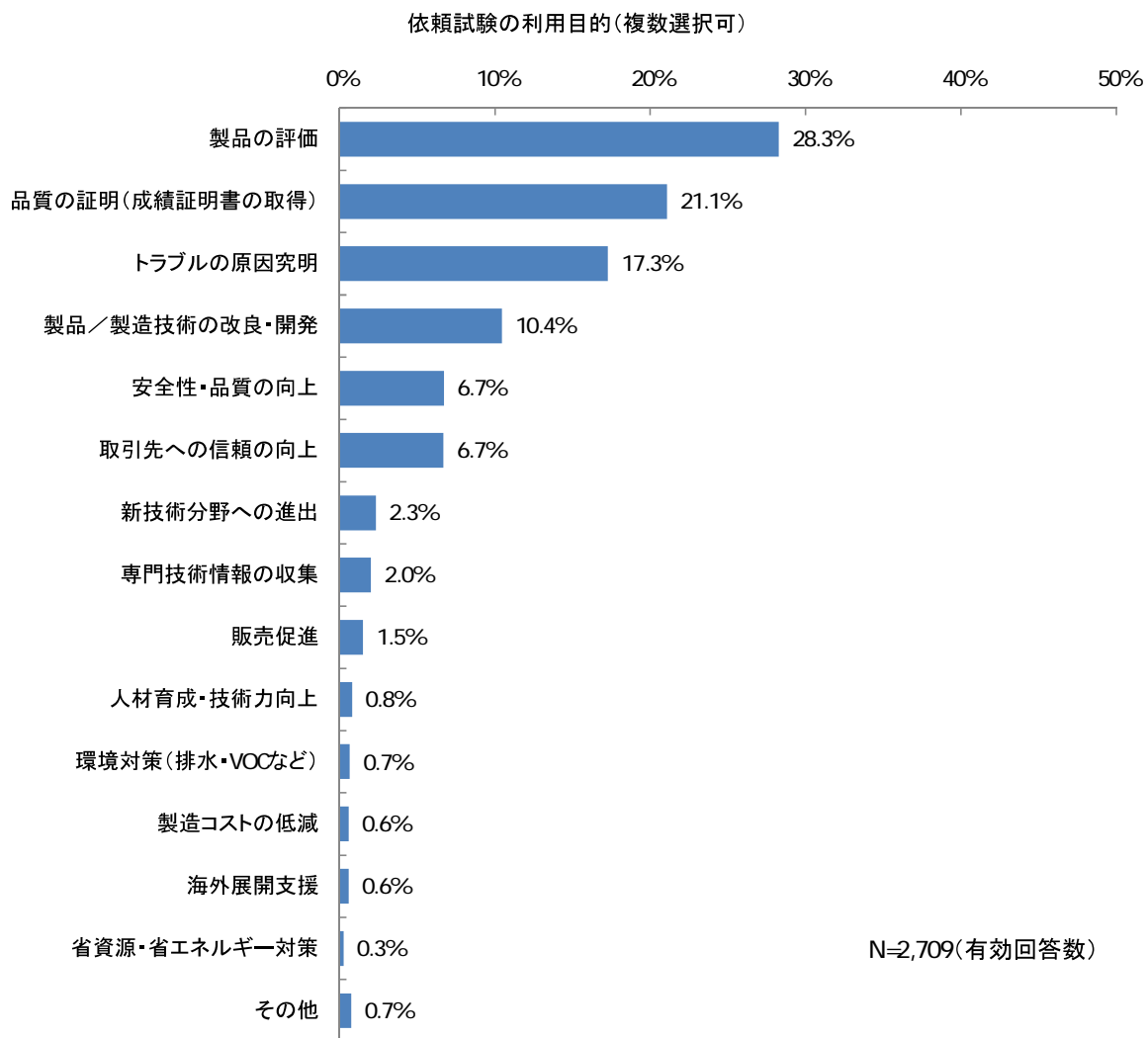
技術相談のサービスに対する意見では、100 件の有効なコメントをいただいた。「親身な対応・適切なアドバイスに満足」という意見が多いが、さらに深めた相談を行う場合に「人によって対応や説明にバラつきがある」という意見も見られた。

- 技術相談利用についての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- 都産技研内で対応できない時に、他に相談できるように紹介してもらえるとありがたい。
 - 予約について電話ではなくネット申し込みにしていただきたい。
 - 具体的な過去事例や商品名などの情報があるとよい。
 - 技術情報の裏づけとなる、規格、技術文献なども教えてもらえると良かった。(=質問すれば良かった)

2.3.2 依頼試験

本設問では、「依頼試験」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

依頼試験の利用目的としては、「製品の評価」(28.3%)が最も多く、次いで「品質の証明(成績証明書の取得)」(21.1%)、「トラブルの原因究明」(17.3%)とつづく。

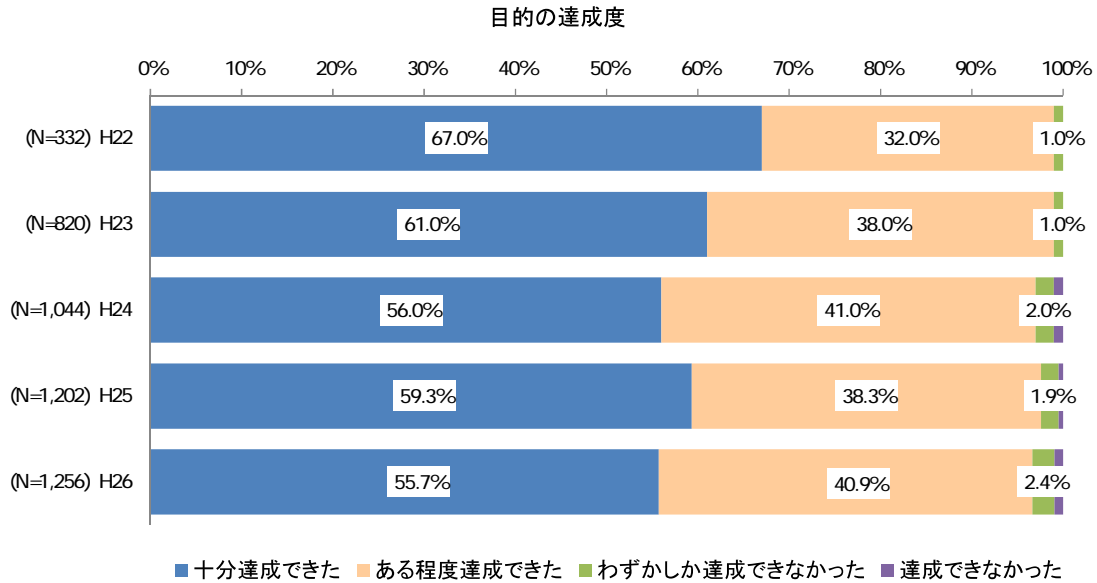


「その他」の記入例

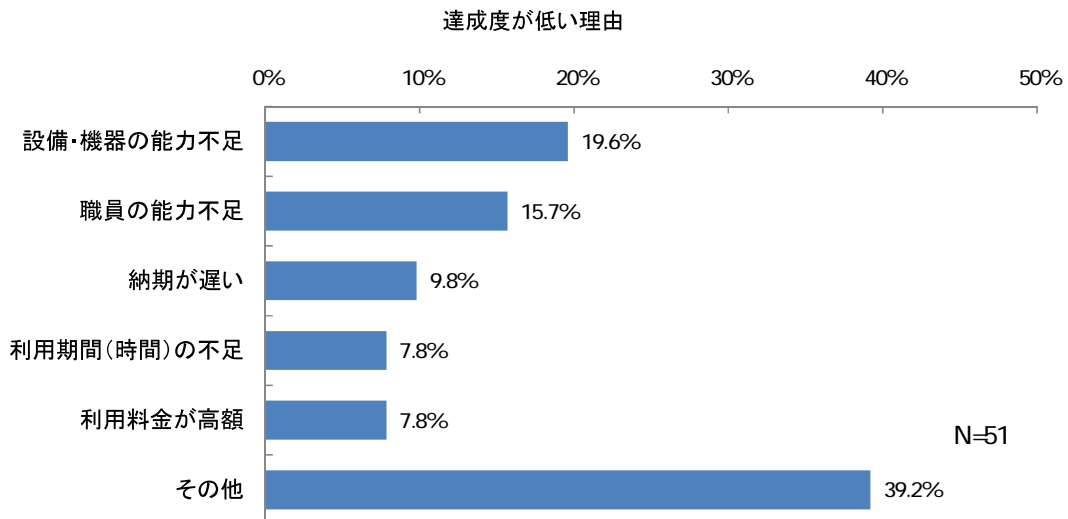
- 物質の分析
- 生産技術の可能性
- 認証試験の立会
- 化石の研究
- 船用国際規格対応

依頼試験の目的達成度は、「十分達成できた」が 55.7%、「ある程度達成できた」が 40.9%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の約 97% を占めている。

経年推移をみると、「十分達成できた」が減少傾向にある。



目的達成度が「わずかしこ達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「設備・機器の能力不足」(19.6%)、「職員能力不足」(15.7%)が多くなっている。

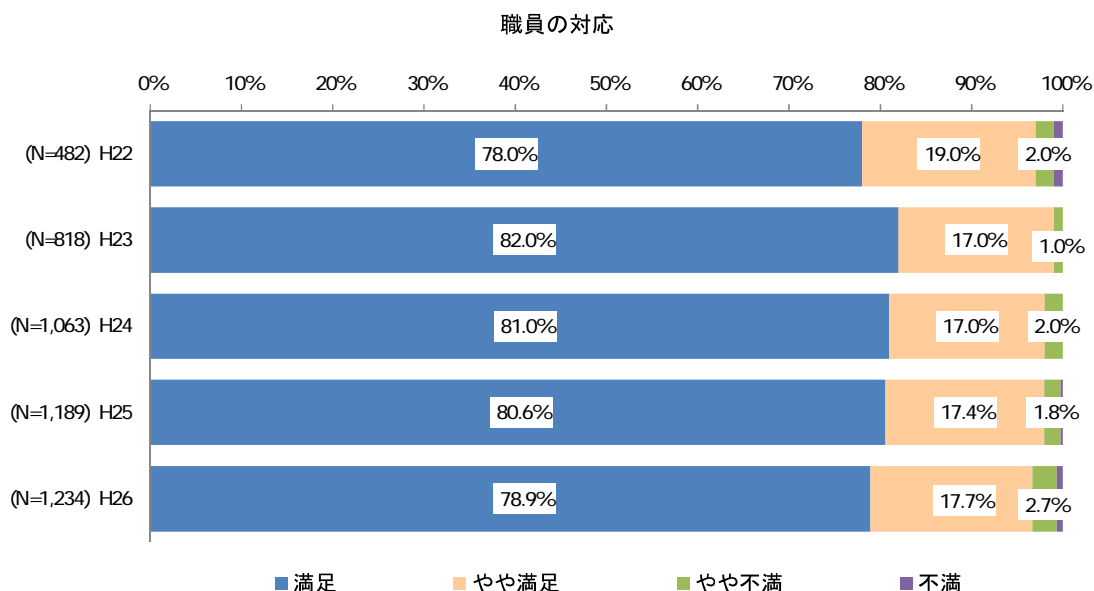


具体的な成果については、189件の有効なコメントをいただいた。「問題・原因が判明、改善に進んだ」「製品の性能・品質等分析・情報確認できた」などの意見が見られた。

- 依頼試験による成果コメント(一部抜粋)**
- 試験結果を示すことで客先への採用が決まった。
 - 耐光性試験を行っていただき、問題ないことを確認できた。
 - 少量ながら航空機産業への参入を果すことができた。
 - 分析結果をもとに製造プロセスの改善に活かしている。

依頼試験の職員の対応をみると、「満足」が78.9%、「やや満足」が17.7%と、合計した約97%が満足と答えている。

経年推移をみても、ほぼ同様の傾向である。



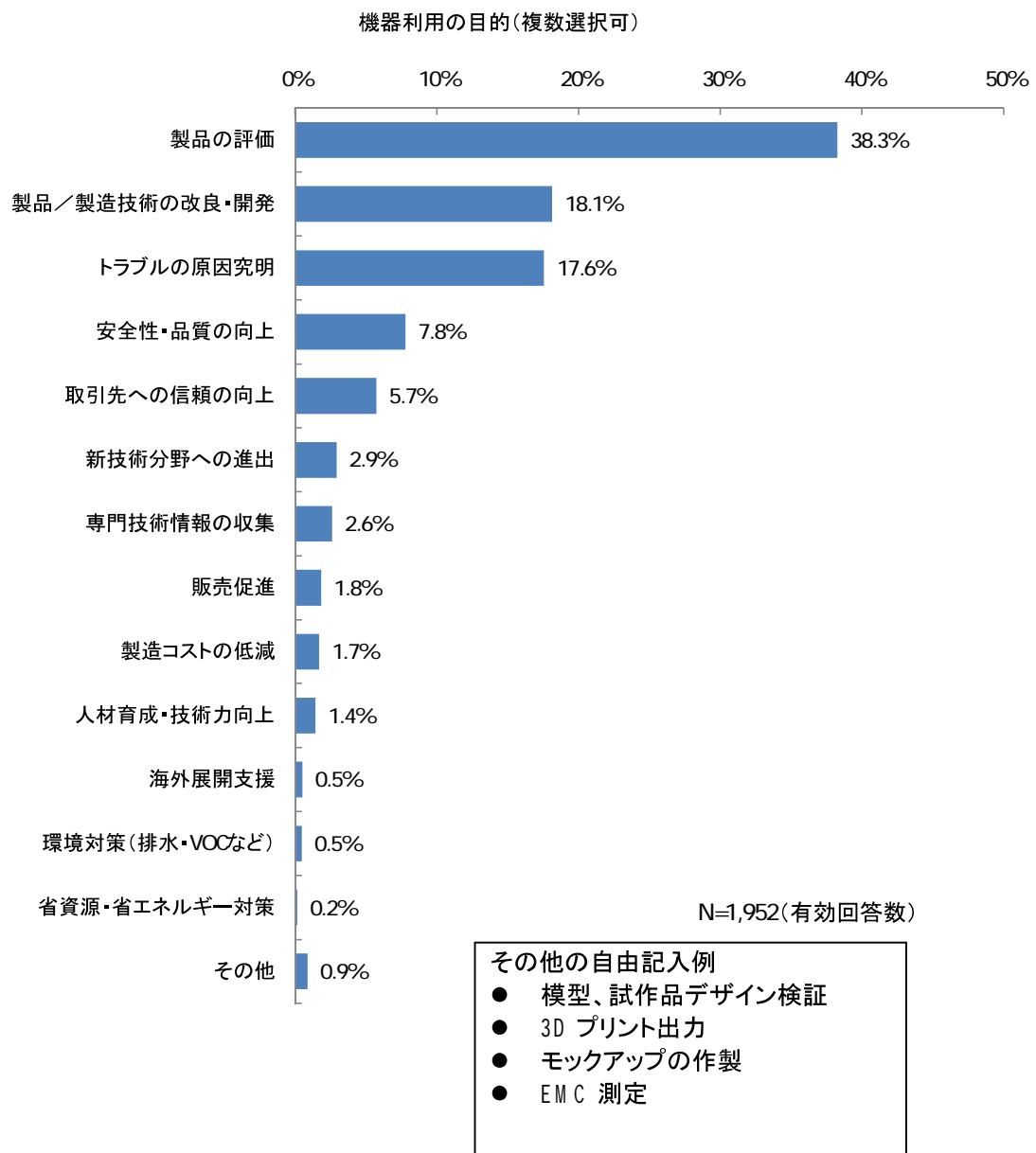
依頼試験のサービスに対する意見では、134件の有効なコメントをいただいた。職員の対応がよかったとの意見が多く見られた。

- 依頼試験についての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- 準備に時間が掛かっている。
 - 細かく説明をしていただいたのでわかりやすかった。
 - 時間のない中、機械(検査機械)の空き時間を見つけていただき、検査を短時間で済ませることが出来ました。感謝しています。
 - 依頼試験の早期予約ができるとありがたい。

2.3.3 機器利用

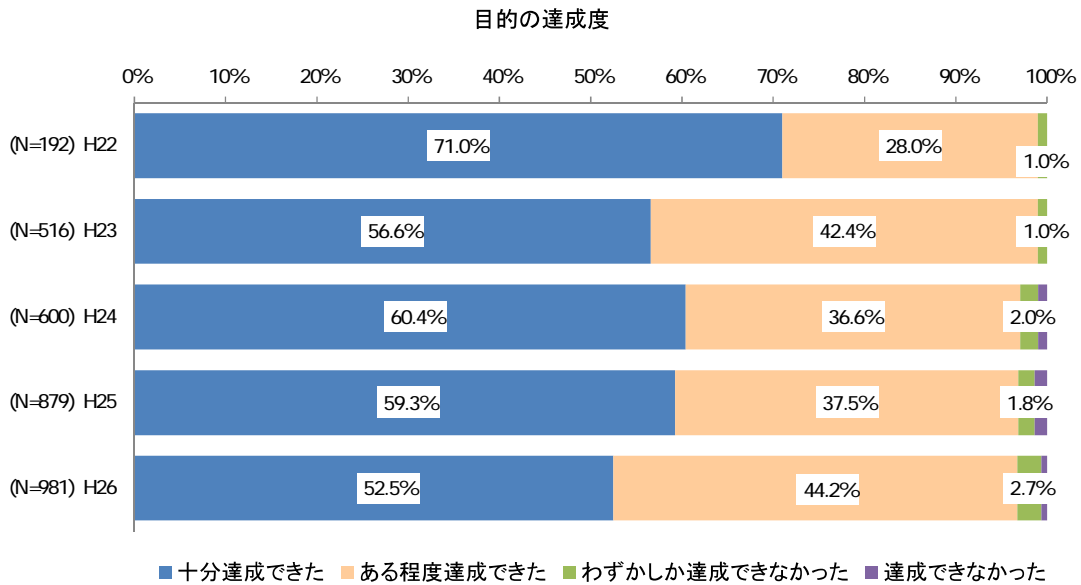
本設問では、「機器利用」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

機器利用の利用目的としては、「製品の評価」(38.3%)が特に多く、次いで「製品／製造技術の改良・開発」(18.1%)、「トラブルの原因究明」(17.6%)とつづく。



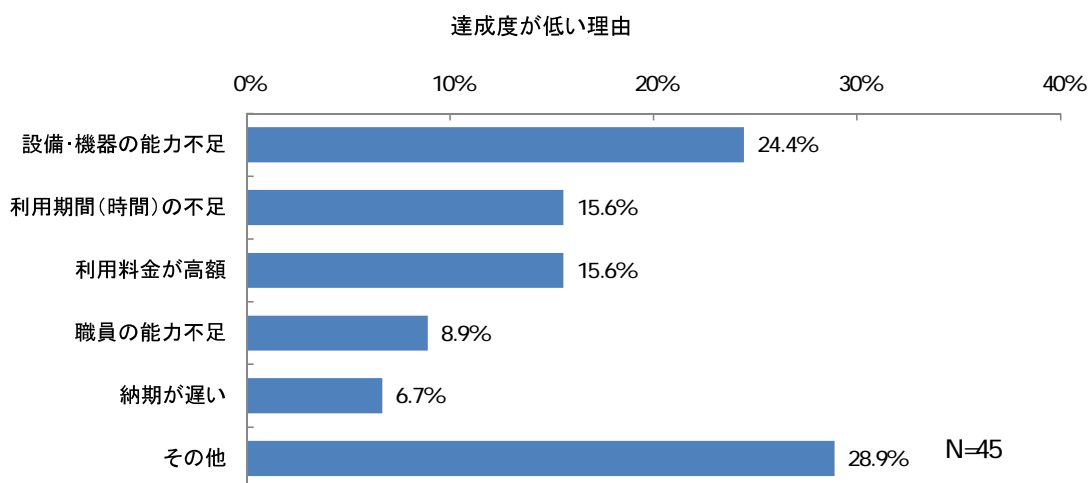
機器利用の目的達成度は、「十分達成できた」が 52.5%、「ある程度達成できた」が 44.2%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の 97% 占めている。

経年推移をみると、「十分達成できた」が減少傾向にある。



目的達成度が「わずかししか達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「設備・機器の能力不足」が 24.4%、「利用期間（時間）の不足」と「利用料金が高額」が同じく 15.6%となっている。

「設備・機器の能力不足」が比較的多くなっている点の特徴である。

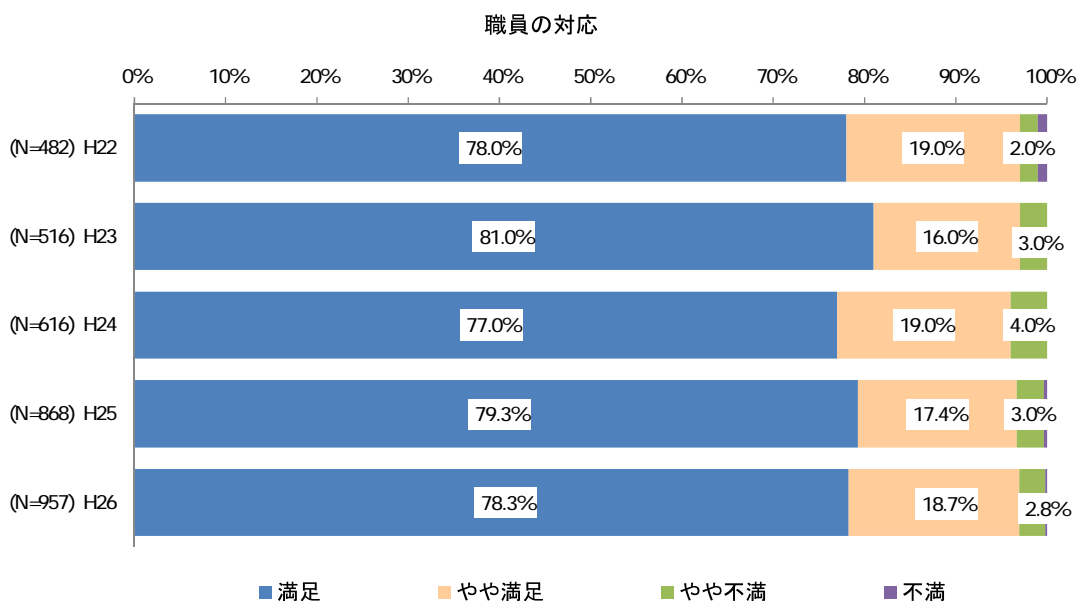


具体的な成果については、126件の有効なコメントをいただいた。「製品の開発、改良に成功した」などの意見が見られた。

- 機器利用による成果コメント(一部抜粋)**
- 自社ではできない製品の評価が安価でスピーディーにできた。
 - 不具合が発見でき、対策ができました。
 - 理論の検証、試作評価を繰り返し、まもなく新製品が開発できる見込み。
 - ユーザー様からの要望に対して、比較データを用いてご説明することができました。
 - CTを用い、基板の不具合箇所を特定した。

機器利用の職員の対応をみると、「満足」が78.3%、「やや満足」が18.7%と、合計した約97%が満足と答えている。

経年推移をみても、ほぼ同様の傾向である。



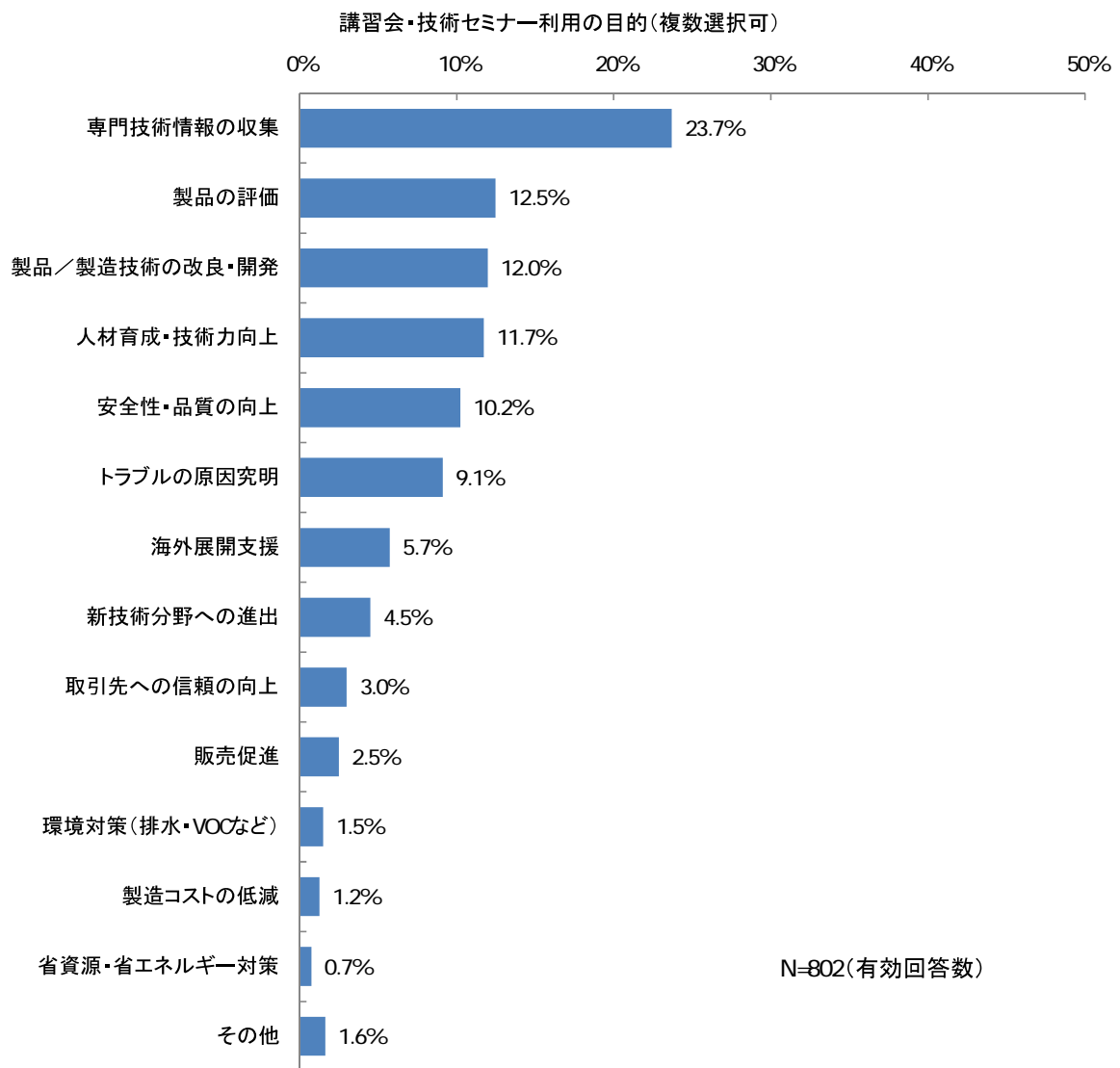
機器利用のサービスに対する意見では、103件の有効なコメントをいただいた。「マニュアルが欲しい」、「準備・片付けで時間ロスをしてしまう」、「HPで機器の予約状況確認できるようにしてほしい」といった意見が比較的多く見られた。

- 機器利用についての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- 技術的なアドバイスや関連する情報も教えていただき感謝しています。
 - 機器の予約状況(空き)が確認できると便利。
 - 機器使用に関しては短時間で理解できる手順書がほしい。または貸出しを希望。

2.3.4 講習会・技術セミナー

本設問では、「講習会・技術セミナー」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

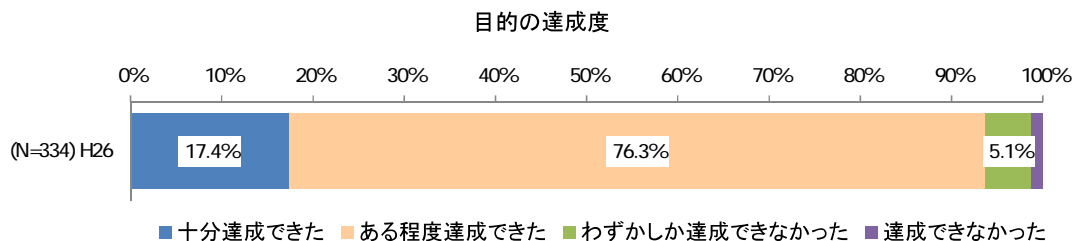
講習会・技術セミナーの利用目的については、「専門技術情報の収集」(23.7%)が最も多く、「製品の評価」(12.5%)、「製品／製造技術の改良・開発」(12.0%)がつづく。



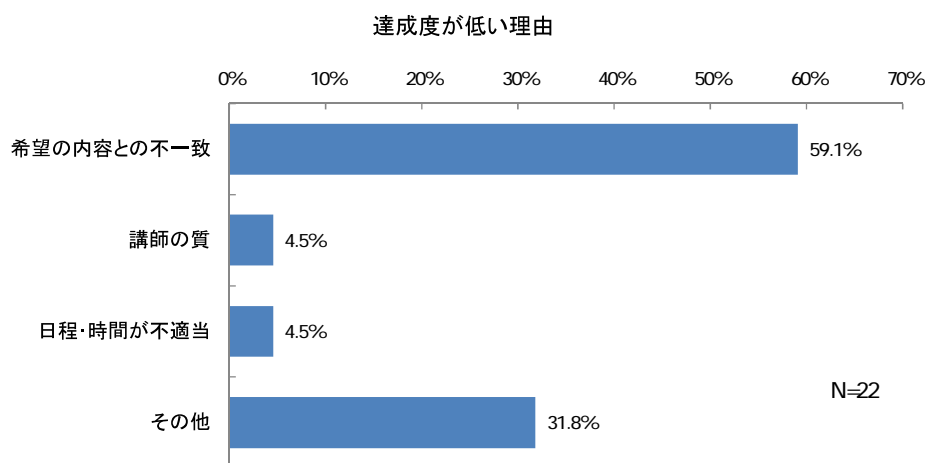
その他の自由記入例

- 特許関連
- CE マーキング、RoHS 対応
- 船用国際規格対応

講習会・技術セミナーの目的達成度は、「十分達成できた」が17.4%、「ある程度達成できた」が76.3%と、十分またはある程度達成できたとする回答が全体の94%以上を占めている。



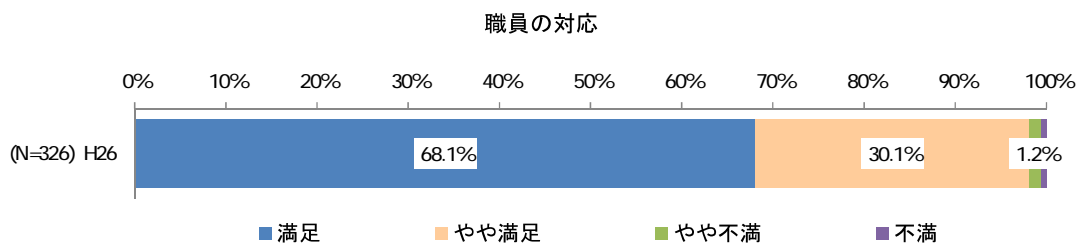
目的達成度が「わずかしこ達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に理由を聞いたところ、「希望の内容と不一致」が59.1%（13件）と特に多くなっている。



具体的な成果については、36件の有効なコメントをいただいた。「知識習得に役立った」「現状の理解・確認ができた」などの意見が見られた。

- 講習会・技術セミナーによる成果コメント(一部抜粋)**
- CE マーキングセミナーに参加しました。現状等が理解できました。
 - 製品開発時の材料選定に役立った。
 - 開発セミナー受講により、コンセプト作成手法等が学べ、社内起案の優位性が増した。
 - 知識の向上により、取引先への信頼が上がった。

講習会・技術セミナーの職員の対応をみると、「満足」が68.1%、「やや満足」が30.1%と、合計した約98%が満足と答えている。



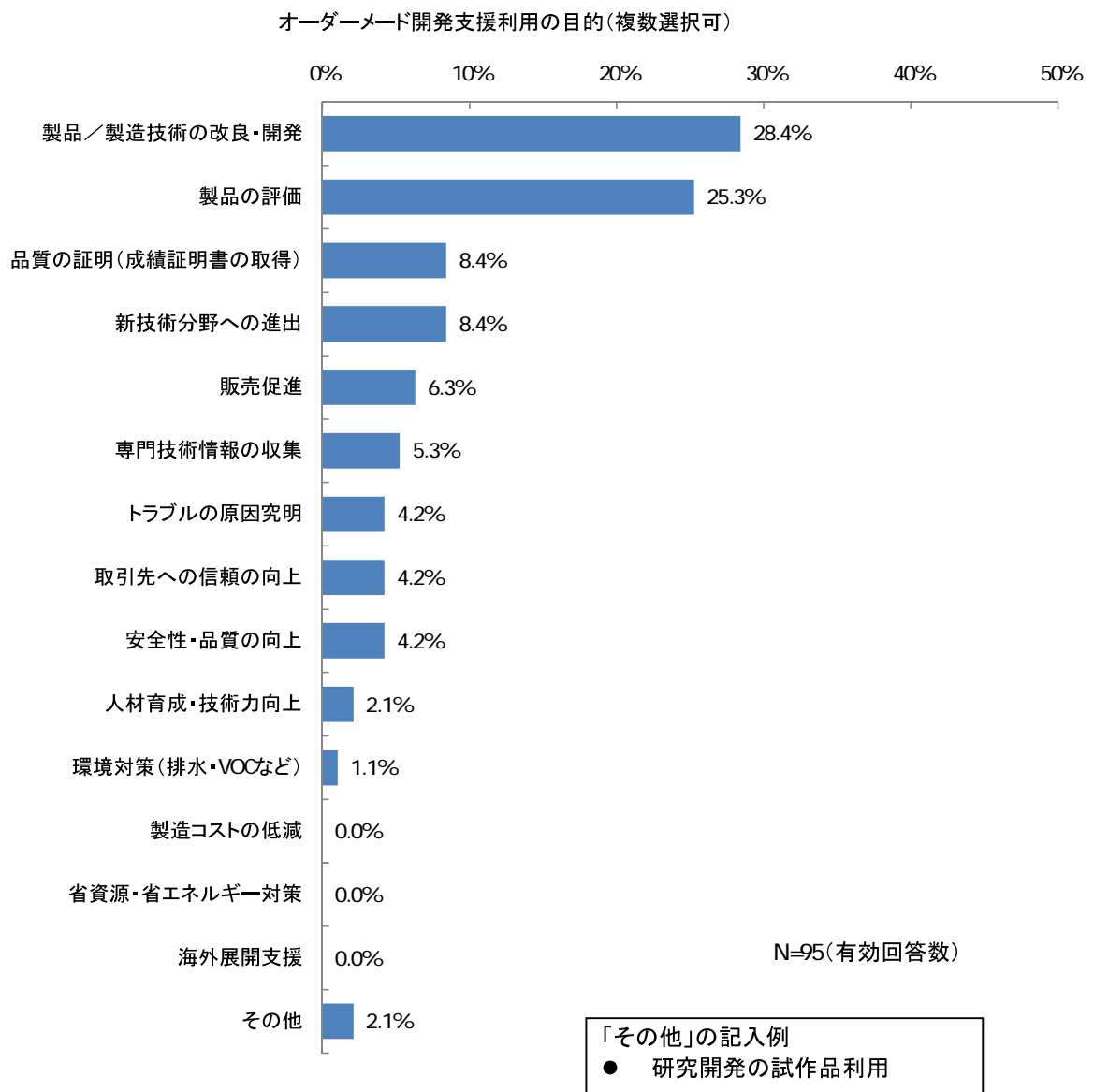
講習会・技術セミナーに対する意見では、22件の有効なコメントをいただいた。「大変役立った、有難い」、「他の講習会を希望」の意見が比較的多く見られた。

- 講習会・技術セミナーについての意見・要望コメント(一部抜粋)**
- 電子回路をもっとやさしく教えてくれる講座をお願いしたい。
 - 安価で大変助かっています。
 - セミナーのレベル(ランク)を分けたものがあるのもいいと思う。

2.3.5 オーダーメイド開発支援

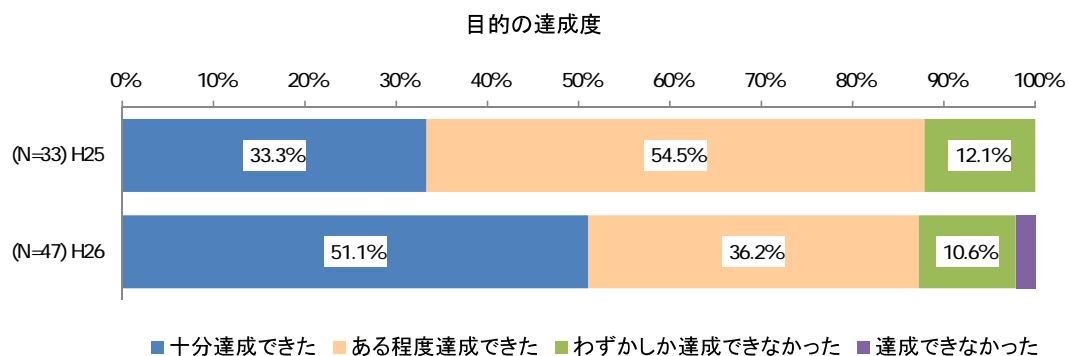
本設問では、「オーダーメイド開発支援」事業について、その利用目的、目的達成度、職員の対応等について、回答をいただいた。

オーダーメイド開発支援の利用目的としては、「製品／製造技術の改良・開発」(28.4%)が最も多く、次いで「製品の評価」(25.3%)が多くなっている。



オーダーメイド開発支援の目的達成度は、「十分達成できた」が51.1%となり、昨年
から約20ポイント上昇した。

「十分達成できた」または「ある程度達成できた」とする回答が全体の約87%を占め
ている。



目的達成度が「わずかしか達成できなかった」「達成できなかった」とした方を対象に
達成度が低い理由を聞いたところ、「設備・機器の能力不足」が全7件のうち3件を占め
た。

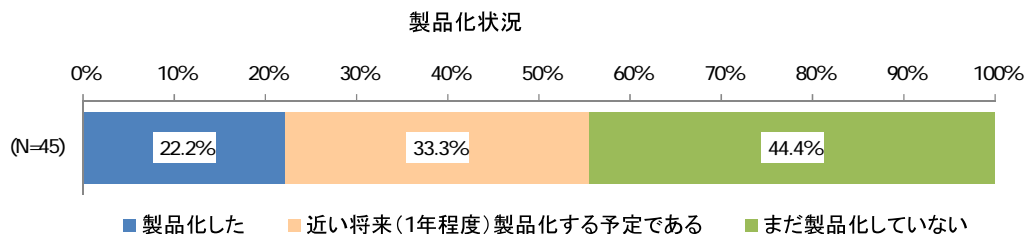
達成度が低い理由

回 答	件 数
設備・機器の能力不足	3
納期が遅い	1
利用期間（時間）の不足	1
その他	2
合 計	7

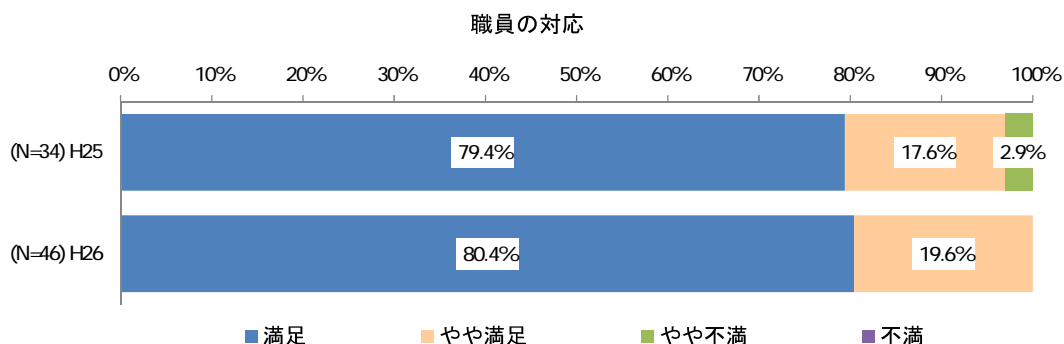
具体的な成果については、8件の有効なコメントをいただいた。主なものは以下のと
おりである。

- オーダーメイド開発支援利用による成果コメント（一部抜粋）
- 試作品を最終製品に実装し、評価中。評価終了後、量産予定。
 - トラブルの原因がわかった為、材質の変更を行った。
 - 薬事法申請用データとして報告書を使用することができた。

オーダーメイド開発支援後の製品化状況をみると、「製品化した」が22.2%、「近い将来(1年程度)製品化する予定である」が33.3%、「まだ製品化していない」が44.4%と答えている。



職員の対応をみると、「満足」が80.4%、「やや満足」が19.6%となり、合計した100%が満足と答えている。



オーダーメイド開発支援のサービスに対する意見では、8件の有効な意見をいただいた。

オーダーメイド開発支援についての意見・要望コメント(一部抜粋)

- 職員の方には素晴らしい対応をして頂きましたが、機器の状態が不十分で、想定していた利用が出来なかったのが残念でした。
- 通常の依頼分析に比べ、分析内容費用面での相談がしやすいので、依頼分析項目にも展開していただきたいです。

2.3.6 利用状況まとめ

利用目的は、「技術相談」、「依頼試験」、「機器利用」では、「製品の評価」、「トラブルの原因究明」が上位に入っており、「講習会・技術セミナー」、「オーダーメイド開発支援」では、「製品の評価」、「製品／製造技術の改良・開発」が上位に入っている。

目的達成度は、「オーダーメイド開発支援」を除いて92%から97%の満足度（「十分達成」および「ある程度達成」）となっている。「オーダーメイド開発支援」については87%である。

達成度が低い場合の理由としては、「依頼試験」を除いて「利用期間（時間）の不足」が共通して挙げられている。

職員の対応は、全ての事業が96%から100%を達成している。

事業の比較まとめ

		技術相談	依頼試験	機器利用	講習会・技術セミナー	オーダーメイド開発支援
利用目的 上位3項目		<ul style="list-style-type: none"> ・製品の評価 ・トラブルの原因究明 ・品質の証明（成績証明書取得の事前相談等） 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の評価 ・品質の証明（成績証明書の取得） ・トラブルの原因究明 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品の評価 ・製品／製造技術の改良・開発 ・トラブルの原因究明 	<ul style="list-style-type: none"> ・専門技術情報の収集 ・製品の評価 ・製品／製造技術の改良・開発 	<ul style="list-style-type: none"> ・製品／製造技術の改良・開発 ・製品の評価 ・品質の証明（成績証明書の取得）
目的達成度	十分達成+ ある程度達成	92%	97%	97%	94%	87%
	わずかしか達成できない+ 達成できない	8%	3%	3%	6%	13%
達成度が低い場合の理由 上位3項目		N = 142 <ul style="list-style-type: none"> ・回答が不十分 ・職員の能力不足 ・利用期間（時間）の不足 	N = 51 <ul style="list-style-type: none"> ・設備・機器の能力不足 ・職員の能力不足 ・納期が遅い 	N = 45 <ul style="list-style-type: none"> ・設備・機器の能力不足 ・利用期間（時間）の不足 ・利用料金が高額 	N = 22 <ul style="list-style-type: none"> ・希望の内容との不一致 ・講師の質 ・日程・時間が不適當 	N = 7 <ul style="list-style-type: none"> ・設備・機器の能力不足 ・納期が遅い ・利用期間（時間）の不足
職員の対応	満足+ やや満足	96%	97%	97%	98%	100%
	やや不満+ 不満	4%	3%	3%	2%	0%

2.4 都産技研の利用による経済効果

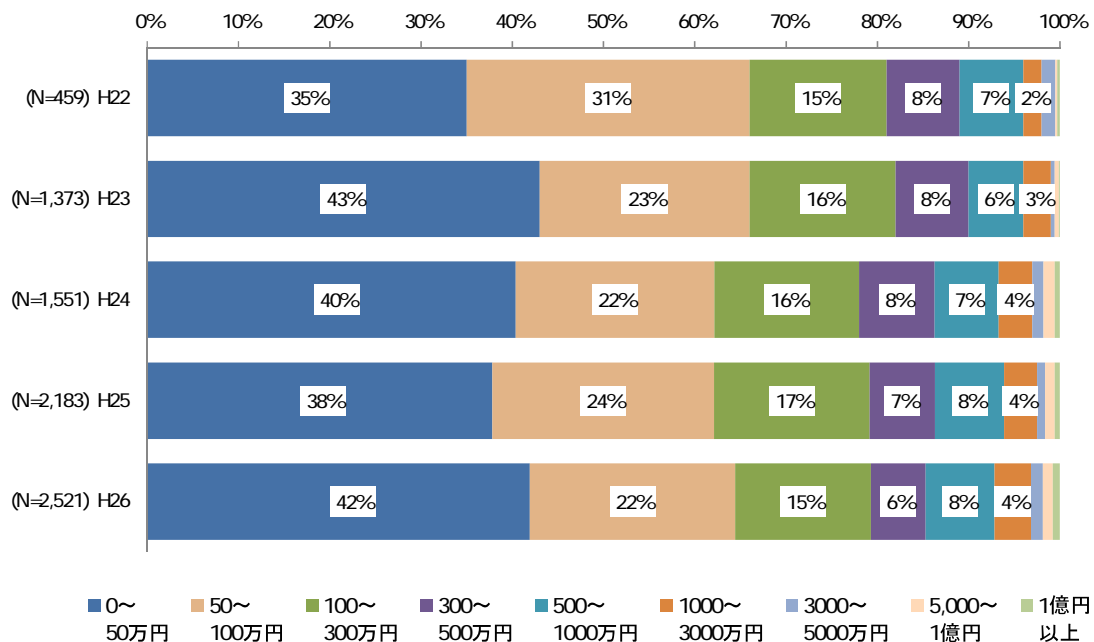
都産技研を利用したことにより生み出された経済効果(都産技研を利用することによって、企業等が得た効果を金額に換算した数値)の状況をみると、「50万円以下」への回答が最も多く、金額が上がるにつれて、回答件数は減少傾向にある。

経済効果額別件数及び割合

回 答	件数	割合
50万円以下	1,057	41.9%
50～100万円	567	22.5%
100～300万円	375	14.9%
300～500万円	151	6.0%
500～1,000万円	191	7.6%
1,000～3,000万円	100	4.0%
3,000～5,000万円	33	1.3%
5,000～1億円	27	1.1%
1億円以上	20	0.8%
合 計	2,521	100%

経年推移をみると、昨年と比較して「50万円以下」がやや増加している。

都産技研利用による得られた経済効果



次に、一企業あたりの経済効果を以下の試算によって算出した。

「0～50 万円」への回答は 25 万円	}	として、全体の加重平均を算出する
「50～100 万円」への回答は 75 万円		
「100～300 万円」への回答は 200 万円		
⋮		
「1 億円以上」への回答は 1 億円		

経済効果額の算出

回 答	平均金額	回答件数
0～50 万円	25 万円	1,057
50～100 万円	75 万円	567
100～300 万円	200 万円	375
300～500 万円	400 万円	151
500～1000 万円	750 万円	191
1000～3000 万円	2,000 万円	100
3000～5000 万円	4,000 万円	33
5,000～1 億円	7,500 万円	27
1 億円以上	1 億円	20
経済効果 総額 (2,521 件)	108 億 2,100 万円	
加重平均値	約 429 万円/企業	
利用企業全体での経済効果金額 (9,135 社)	約 392 億円	

$$\begin{aligned}
 \text{経済効果総額} &= (25 \text{ 万円} \times 1,057 \text{ 件}) + (75 \text{ 万円} \times 567 \text{ 件}) + (200 \text{ 万円} \times 375 \text{ 件}) \\
 &+ (400 \text{ 万円} \times 151 \text{ 件}) + (750 \text{ 万円} \times 191 \text{ 件}) + (2,000 \text{ 万円} \times 100 \text{ 件}) \\
 &+ (4,000 \text{ 万円} \times 33 \text{ 件}) + (7,500 \text{ 万円} \times 27 \text{ 件}) + (1 \text{ 億円} \times 20 \text{ 件}) \\
 &= 108 \text{ 億 } 2,100 \text{ 万円}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{平均額} &= 108 \text{ 億 } 2,100 \text{ 万円} \div 2,521 \text{ 件} \\
 &= \text{約 } 429 \text{ 万円/企業}
 \end{aligned}$$

$$\begin{aligned}
 \text{利用企業全体での経済効果金額} &= 429 \text{ 万円} \times 9,135 \text{ 社} \text{ (*注)} \\
 &= \text{約 } 392 \text{ 億円}
 \end{aligned}$$

(*注) 平成 26 年に都産技研の業務系データベースに登録されている企業数

一企業あたりの経済効果金額は約 429 万円となり、昨年結果 (393 万円/企業) よりも約 36 万円増加している。

また、利用企業全体での経済効果金額は、約 392 億円となり、昨年結果 (約 349 億円) より約 43 億円増加の結果となった。

次に、その経済効果が何によって生まれたのかという理由を尋ねたところ、475 件の有効回答（有効コメント）をいただいた。このコメントを 3 種類に分類し、それぞれの有効回答数を整理すると以下の表になる。

分類 A 「現在コストの削減」

どのような試験を行えばよいか、相談をしてから実験ができ、無駄な時間、労力、コストが削減できた。また、実験方法に関しても指示していただけたので、治具等の製作が無駄なくできた。

分類 B 「売上/利益の獲得」

試験機器を利用することで、使い方を習得できたため、クライアントが保有する類似の試験機器を使用できるようになり、業務の受注量拡大につなげることができた。

分類 C 「将来メリットの獲得」

依頼試験により、原因物質の分析とその影響が確認（類推）できた。専門家によるアドバイスの的確な試験の実施により、効率的かつ経済的に行なう事ができた。

経済効果額	経済効果額別分類別件数			単位：件
	A 現在コスト の削減	B 売上/利益 の獲得	C 将来メリッ トの獲得	合計
0～50 万円	78	7	35	120
50～100 万円	61	12	27	100
100～300 万円	46	18	23	87
300～500 万円	23	8	9	40
500～1,000 万円	37	7	20	64
1,000～3,000 万円	15	11	4	30
3,000～5,000 万円	6	2	4	12
5,000～1 億円	7	4	1	12
1 億円以上	0	7	3	10
合計	273	76	126	475

分類 A～C それぞれにおける一企業あたりの金額換算額を、同様に加重平均によって算出した結果、以下のとおりとなった。

分類 A 「現在コストの削減」の経済効果額	=583 万円/企業
分類 B 「売上/利益の獲得」の経済効果額	=1,883 万円/企業
分類 C 「将来メリットの獲得」の経済効果額	=695 万円/企業

経済効果の理由(一部抜粋)

分類A【現在コストの削減】

- 装置が故障し、入れ替えが必要な状況で機器利用をすることにより、その経費を節約できました。
- 評価機器の投資抑制。
- 電子顕微鏡の開放利用により、自前で投資せずに済んでいる。

分類B【売上/利益の獲得】

- レーザー溶接機の溶接品質が証明できたため、販売につながりました。
- 自分と同じ考えでデータを採取していただき、客先への説得材料となり受注へつながった。
- 製品の性能が詳しくわかったので他社製品と比べて良い所をアピールし受注案件が増えた。

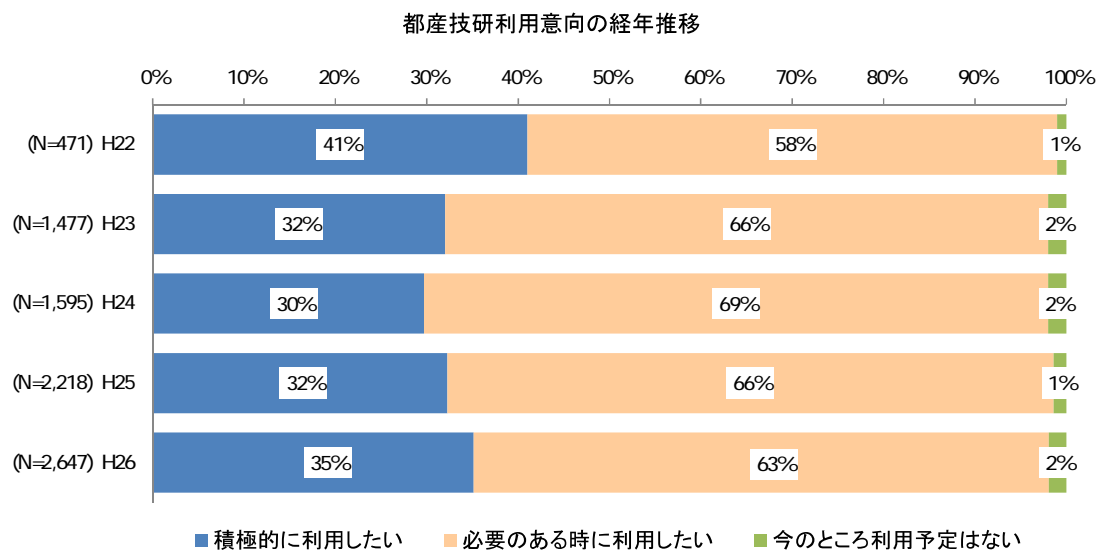
分類C【将来メリットの獲得】

- 調査活動をする時間と労力が省けた。
- 簡易分析のヒントとなる基礎評価を行うことができ、短期間で成果を上げる事ができました。
- 試験結果を添付したことで、顧客様のプライベートブランド採用にプラスになりました。

2.5 今後の利用意向及び要望

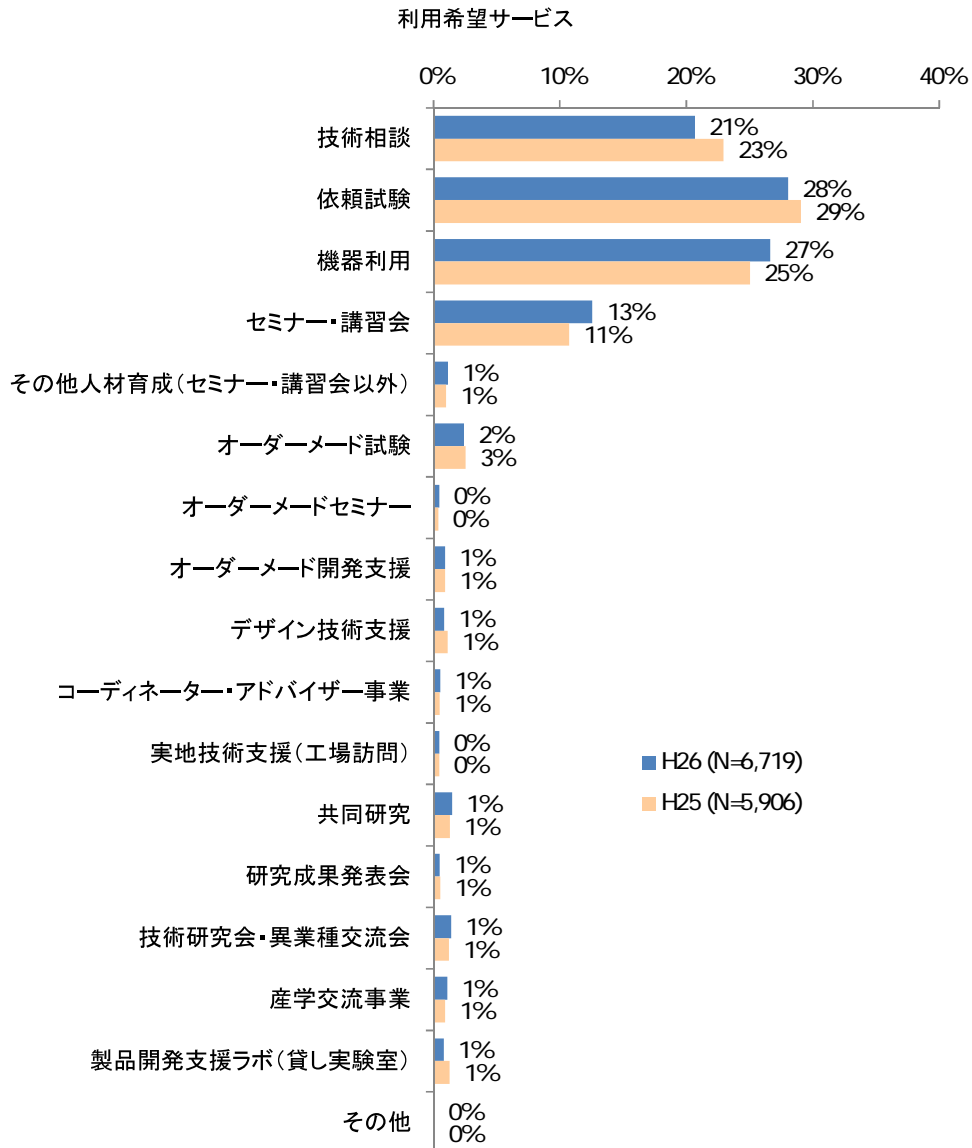
今後も都産技研を利用されるかどうかを尋ねたところ、「積極的に利用したい」が35%、「必要のある時に利用したい」が63%、「今のところ利用はない」が2%という結果であった。

経年推移をみると、平成23年以降はほぼ同様の傾向である。

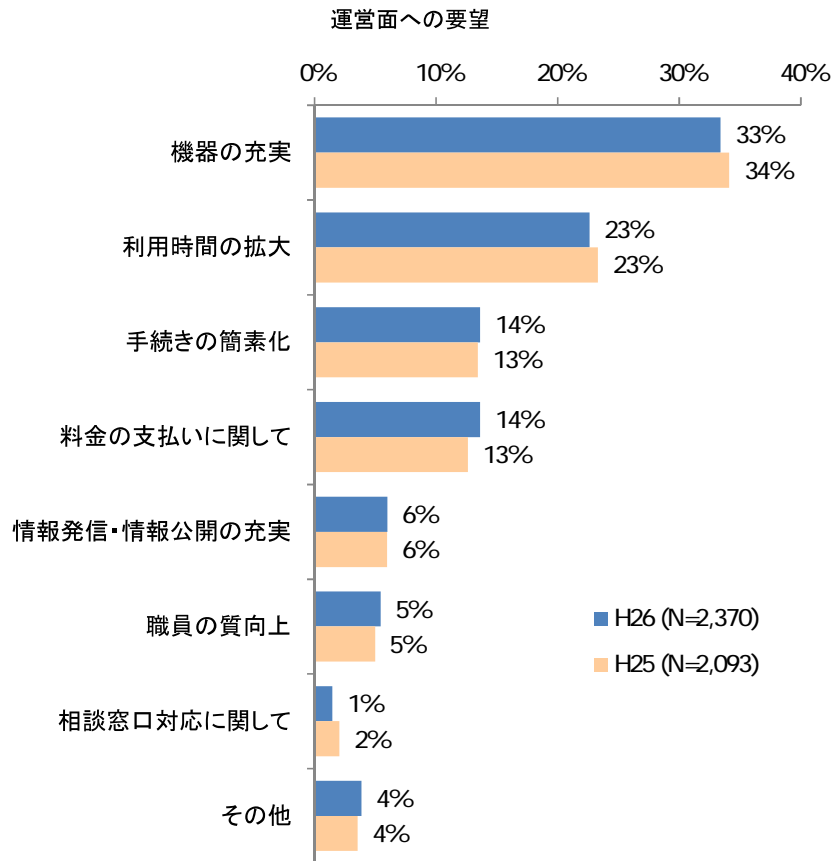


利用を希望する具体的な事業・サービスについて聞いたところ、技術相談が 21%、依頼試験が 28%、機器利用が 27%、セミナー・講習会が 13% となった。

昨年と比較するとほぼ同様の傾向となっている。



また、都産技研の運用面での要望では、「機器の充実」が 33% と最も多く、続いて「利用時間の拡大」(23%)、「手続きの簡素化」(14%)、「料金の支払いに関して」(14%) と続く。



運営面の要望については、547 件の有効なコメントをいただいた。「利用時間をのばしてほしい」「支払方法を柔軟に対応してほしい」など、全般的に利用のしやすさへの意見が多い。

運営面への要望についての具体的なコメント(一部抜粋)

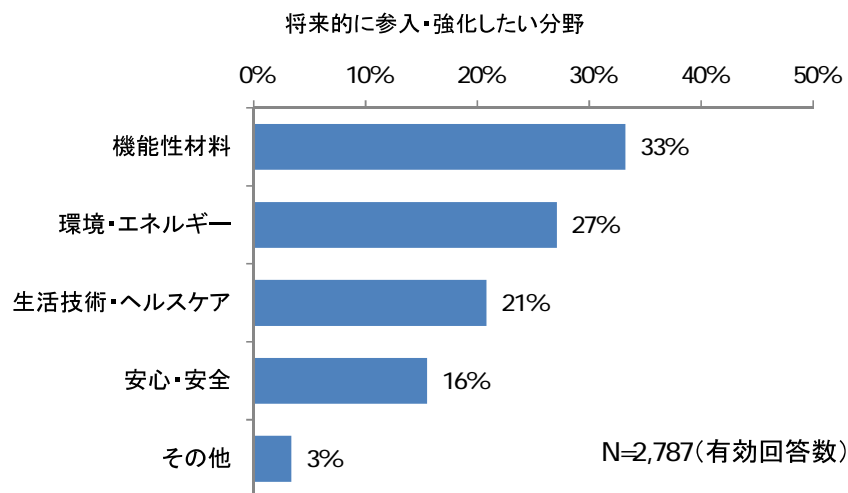
- 機器のレンタルができるとよい。
- 本部のみでなく、他の支所も、機器の予約状況をオンラインで分かるようにしてほしい。
- 依頼試験は高くなるのもっと装置を使えるようにしてほしい。
- 依頼試験の申込みフォームを HP 等に用意してほしい。

2.6 興味や関心のある分野・事業(サービス)

本設問では、興味や関心のあるサービス分野・事業における「将来的に参入・強化したい分野」、「利用したいサービス」について聞いた。

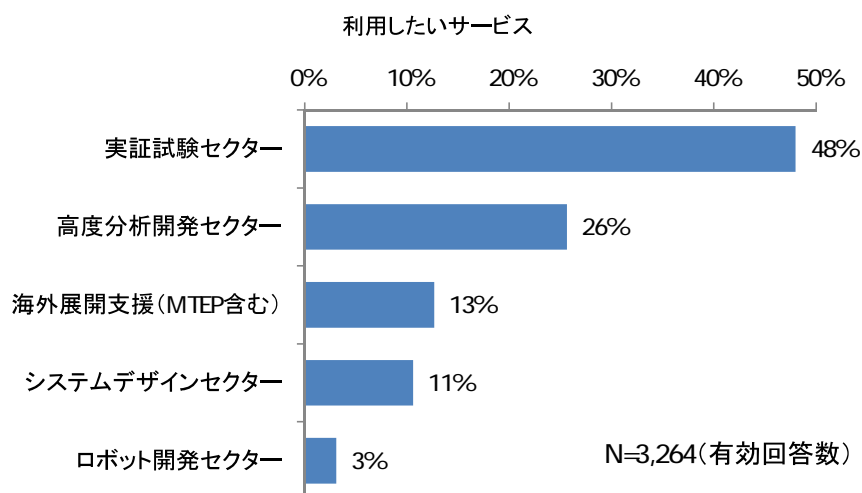
【将来的に参入・強化したい分野】

将来的に参入・強化したい分野においては、「機能性材料」が33%、「環境・省エネルギー」が27%、「生活技術・ヘルスケア」が21%となっている。



【利用したいサービス】

利用したいサービスにおいては、「実証試験セクター」が48%と最も多く、次いで「高度分析開発セクター」が26%となっている。



3. 総括

本調査では、ご利用者の皆さまから数多くのご意見・ご要望をいただきました。都産技研ではこれらの結果を横断的な視点で考察し、課題を明確にしたうえで事業運営に反映させていきたいと考えています。以下では、皆さまからいただいたご意見を元に改善した例をご報告いたします。

3.1 利用者からのご意見・ご要望

本調査における自由意見から、利用者の皆さまのご意見・ご要望を分類し、以下の表にまとめました。

テーマ	項目	コメント（一部抜粋）
事業サービスの拡充に関すること	分野の拡大 機器の充実	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築・鉄鋼・非鉄金属分野において JN LA の認定を取得して第三者認定機関としての信頼・信用度を UP してほしい。 ● 機器利用できる高性能の機器を増やしてほしい。 ● 3D プリンタで材料の選択肢が増えると有難い。
	利用時間の拡大	<ul style="list-style-type: none"> ● 利用可能時間を拡大して欲しい。 ● 17 時完全退出のため、トラブルが発生すると試験が完了しなくなる。時間延長可能にしてほしいです。
	窓口サービスの拡充	<ul style="list-style-type: none"> ● 相談したい内容と異なる部署へおつなぎいただくことも多いので、研究員の方での当番制なども検討いただきたいです。 ● 相談窓口では、内容が伝わりにくく、直接研究員に説明しなければならず手間がかかる。
既存事業サービスの効果的提供に関すること	納期（予約時間含む）	<ul style="list-style-type: none"> ● 各手続きが煩雑で結果を入手するまでに時間がかかり過ぎます。 ● 試験依頼～成績証明の郵送までをもっと短期で進めてほしい。 ● 振動強度の依頼試験の時間枠を増して、依頼後すぐ試験を実施してほしい。
	支払い方法	<ul style="list-style-type: none"> ● 料金支払いの簡素化に取り組んでほしい。 ● クレジットカード利用の拡大。 ● 現金支払をしているが、後日請求にさせていただくと立替金がなくなる。
	職員の能力・対応	<ul style="list-style-type: none"> ● 技術対応者の個の対応力に大きく依存していると感じます。受付の方にももう少し対応頂けると良いと感じました。 ● 職員の方が忙しすぎる。 ● 担当技術者不在時でも対応出来るよう検討お願いします。
	情報授受やり取り	<ul style="list-style-type: none"> ● 試験サンプルの受け渡し等可能なところは、できるだけ郵便での対応をしてほしい。 ● 製品の評価にかかわる成績書は PDF でもらえればと思います。
	その他	<ul style="list-style-type: none"> ● 製品開発支援ラボを長期利用したい。工具、機材を準備するのに、小さめの部屋かロッカーがほしい。 ● アンケートをオンライン上で回答したいです。

3.2 ご意見をもとに改善した例について

「事業サービスの拡充に関すること」に関して、金属材料の引張試験について、JNLA（試験事業者登録制度）認定登録を取得し、ニーズの多いJIS Z 2241に基づく引張強さ、伸び、絞りの試験について、JNLAでの試験が可能となりました。また、照明分野においても、JNLA認定登録を取得し、LED電球の全光束測定、消費電力測定、色彩測定のJNLA試験が可能となりました。今後も都産技研は第三者認定機関としての信頼・信用度の向上に努めてまいります。

機器の拡充のご要望の多い3Dプリンタについては、平成26年12月に墨田支所にインクジェット式カラー3Dプリンタを新たに導入しました。同時期に導入した3Dハンディスキャナと合わせて、「3Dデジタルものづくり」支援を進めてまいります。

「既存事業サービスの効果的提供に関すること」に関しては、従来からご要望の多かったインターネットでの機器利用予約状況の公開について、平成26年度から本部だけでなく各支所においても一部の機器の利用予約状況の公開を開始しました。（<http://www.iri-tokyo.jp/seihin/kiki/index.htm>）オンライン予約申し込みについても、順次対象機器を拡大しております。引き続き機器利用の利便性向上を図ってまいります。

[ホーム](#) > [製品開発支援](#) > [試験機器のご利用](#) > [機器利用予約状況一覧\(城東\)](#)

機器利用予約状況一覧(城東)

3月25日から3月31日まで [次の週](#)

		2015年3月25日13時時点														
機器の名称	実施場所	所属	25日(水)		26日(木)		27日(金)		28日(土)		29日(日)		30日(月)		31日(火)	
			午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後		
万能試験機(100kN)	城東	城東支所	×	×	○	×	○	×					○	○	○	○
工具顕微測定機	城東	城東支所	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○
3次元測定機	城東	城東支所	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○
恒温恒湿槽	城東	城東支所	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○
振動試験装置(加振力10kN未満)	城東	城東支所	×	×	×	×	×	×					×	×	×	×
普通旋盤	城東	城東支所	○	○	○	○	○	○					○	○	○	○

注意

- 希望する時間帯によっては、ご予約頂けないこともあります。
- 表内の「○」は予約可能を示します。「×」は利用できません。また「△」は条件により利用可能です。担当にお問い合わせください。
- 各機器の主な仕様は、機器名をクリックしてご確認ください。
- 祝祭日及び土曜・日曜日のみのご予約はできません。

機器利用予約状況一覧の例（城東支所）

今回皆さまから頂戴したご意見・ご要望を真摯に受け止め、より一層のサービスの向上に努めてまいります。今後とも都産技研のご利用の程よろしくお願いいたします。

参考資料

「平成26年 ご利用に関するアンケート」

(※注)

アンケートの設問：3.(1)「ご利用の目的、達成度、職員対応等に関して」(P.33～37)では、各種事業を利用された方のみを対象に、アンケート用紙を送付しています。

(例：平成26年に技術相談と依頼試験を利用された方には、P.34～35、P.37のページは送付していません。)

《平成 26 年ご利用に関するアンケート》

アンケートに対する回答には、選択肢回答と自由記入回答があります。

選択肢がある設問では、該当する回答の 部にチェック（し点など）を記入してください。

1. 都産技研のご利用のきっかけについてお伺いします。

(1) ご利用のきっかけは、次のうちどれですか。

利用のきっかけ 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	ホームページ
	2	<input type="checkbox"/>	展示会（ ）
	3	<input type="checkbox"/>	TIRI NEWS、メールニュース
	4	<input type="checkbox"/>	他の行政機関による紹介
	5	<input type="checkbox"/>	他の企業による紹介
	6	<input type="checkbox"/>	自社（自校）の方からの紹介
	7	<input type="checkbox"/>	技術雑誌・学会（会誌等）
	8	<input type="checkbox"/>	テレビニュース、テレビ番組、新聞
	9	<input type="checkbox"/>	その他（ ）

2. 情報提供についてお伺いします。

(1) ホームページ及びメールニュースに関してお答えください。

都産技研のホームページ ⇒⇒ <http://www.iri-tokyo.jp>

また、都産技研ではメールニュース（※）を随時配信しています。

※：内容は講習会・技術セミナー等の募集、研究成果発表会・施設公開等のイベント、刊行物の紹介情報 など

(A) ホームページ及びメールニュースについてご意見などがありましたら、お聞かせください。

--

(B) メールニュースの配信を希望される方は配信先メールアドレスをご記入ください。

配信先メールアドレス	
------------	--

3. 産技研の利用実態についてお伺いします。

(1) ご利用の目的、達成度、職員対応等に関してお答えください。

ご利用事業（サービス）：**依頼試験**

依頼試験 の利用目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
依頼試験 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3 又は 4 を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい*
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
依頼試験時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：**機器利用**

機器利用 の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
機器利用 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
機器利用時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：**講習会・技術セミナー**

講習会・技術セミナー の参加目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	2	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	3	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	4	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	5	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	6	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	7	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	8	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	9	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	10	<input type="checkbox"/>	販売促進
	11	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	12	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	13	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	14	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
講習会・技術セミナー の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じ た場合（3 又は 4 を選 択した場合）、 その理由をお聞かせ ください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	希望の内容との不一致
	2	<input type="checkbox"/>	講師の質
	3	<input type="checkbox"/>	日程・時間が不相当
	4	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	5	<input type="checkbox"/>	職員の対応
	6	<input type="checkbox"/>	その他 （ ）
また、具体的な成果（派生を含め て、製品改良や事業化事例など） があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等につい て、直接話を聞かせて いただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
講習会・技術セミナー 時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要 望などございましたら、お聞かせく ださい。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：**技術相談**

技術相談 の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得の事前相談等）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ ）
技術相談 の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしかなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3 又は 4 を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	回答が不十分
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	結果が得られるまでの時間が長い
	4	<input type="checkbox"/>	職員の対応
	5	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他 ()
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
技術相談時の 職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

ご利用事業（サービス）：**オーダーメイド開発支援***1

オーダーメイド開発支援の目的 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	品質の証明（成績証明書の取得）
	2	<input type="checkbox"/>	製品の評価
	3	<input type="checkbox"/>	トラブルの原因究明
	4	<input type="checkbox"/>	製品／製造技術の改良・開発
	5	<input type="checkbox"/>	製造コストの低減
	6	<input type="checkbox"/>	取引先への信頼の向上
	7	<input type="checkbox"/>	安全性・品質の向上
	8	<input type="checkbox"/>	人材育成・技術力向上
	9	<input type="checkbox"/>	専門技術情報の収集
	10	<input type="checkbox"/>	新技術分野への進出
	11	<input type="checkbox"/>	販売促進
	12	<input type="checkbox"/>	環境対策（排水・VOC など）
	13	<input type="checkbox"/>	省資源・省エネルギー対策
	14	<input type="checkbox"/>	海外展開支援
	15	<input type="checkbox"/>	その他（ <input type="text"/> ）
オーダーメイド開発支援の目的達成度 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	十分達成できた
	2	<input type="checkbox"/>	ある程度達成できた
	3	<input type="checkbox"/>	わずかしか達成できなかった
	4	<input type="checkbox"/>	達成できなかった
達成度が低いと感じた場合（3又は4を選択した場合）、その理由をお聞かせください。 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	納期が遅い
	2	<input type="checkbox"/>	利用期間（時間）の不足
	3	<input type="checkbox"/>	利用料金が高額
	4	<input type="checkbox"/>	職員の能力不足
	5	<input type="checkbox"/>	設備・機器の能力不足
	6	<input type="checkbox"/>	その他（ <input type="text"/> ）
本事業終了後、製品化に至りましたか 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	製品化した
	2	<input type="checkbox"/>	近い将来（1年程度）製品化する予定である
	3	<input type="checkbox"/>	まだ製品化していない
また、具体的な成果（派生を含めて、製品改良や事業化事例など）があれば、お聞かせください。			
具体的な成果等について、直接話を聞かせていただけますか。 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	はい※2
	2	<input type="checkbox"/>	いいえ
オーダーメイド開発支援時の職員の対応 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	満足
	2	<input type="checkbox"/>	やや満足
	3	<input type="checkbox"/>	やや不満
	4	<input type="checkbox"/>	不満
本サービスについて、ご意見・ご要望などございましたら、お聞かせください。			

※1 オーダーメイド開発支援とは、コンセプト立案・デザイン・設計・各種加工・試作・開発過程での性能評価等、通常の依頼試験や機器利用では対応がむずかしいニーズに対応した技術支援です。

※2 「はい」とお答えいただいた方には、後日職員からご連絡させていただく場合がございます。

(2) 都産技研ご利用による経済効果に関してお答えください。

(A) 都産技研のご利用により、あなたの会社（組織）が得られたと思われるメリットを、金額換算すると、次のいずれに相当しますか。


	0～50万円	-----	1	<input type="checkbox"/>
	50万～100万円程度	-----	2	<input type="checkbox"/>
	100万～300万円程度	-----	3	<input type="checkbox"/>
	300万～500万円程度	-----	4	<input type="checkbox"/>
	500万～1,000万円程度	-----	5	<input type="checkbox"/>
	1,000万～3,000万円程度	-----	6	<input type="checkbox"/>
	1,300万～5,000万円程度	-----	7	<input type="checkbox"/>
	5,000万～1億円程度	-----	8	<input type="checkbox"/>
	1億円以上	-----	9	<input type="checkbox"/>

1億円以上の場合、おおよその金額をご記入ください： _____ (億円くらい)


◆ 上記回答の考え方のヒント ◆

金額に換算するのは容易ではないと思われませんが、都産技研を利用されなかった場合と比較して、大まかに推定してください。例えば、次のようなストーリーを推定し、金額を選択してください。


依頼試験等により、海外認証が取得でき、その製品の売上げが製品ライフで〇〇〇万円見込める。




試験機器を利用することができ、自前で設備投資した場合と比べて金額〇〇〇万円のコスト削減ができた。



技術相談や講習会・技術セミナーにより、製品開発や規格対応における職員の知識・スキルが増加し、生産性が向上した結果、〇〇〇万円の売上げ増加につながった。



故障解析により、製品欠陥の真の原因が究明でき、欠陥に起因する損失〇〇〇万円の支出を回避することができた。



(B) 可能であれば、上記ストーリーをご参考に、具体的経済効果理由をご記入ください。

4. 興味関心やご要望についてお伺いします。

(1) 今後の利用意向や要望等に関してお答えください。

今後の利用意向 【1つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	積極的に利用したい
	2	<input type="checkbox"/>	必要があれば利用したい
	3	<input type="checkbox"/>	今のところ今後の利用予定は無い

利用希望サービス【複数選択可】		
番号		
A1	<input type="checkbox"/>	技術相談
A2	<input type="checkbox"/>	依頼試験
A3	<input type="checkbox"/>	機器利用
A4	<input type="checkbox"/>	セミナー・講習会
A5	<input type="checkbox"/>	その他人材育成 (セミナー・講習会以外)
A6	<input type="checkbox"/>	オーダーメイド試験
A7	<input type="checkbox"/>	オーダーメイドセミナー
A8	<input type="checkbox"/>	オーダーメイド開発支援
A9	<input type="checkbox"/>	デザイン技術支援
A10	<input type="checkbox"/>	コーディネーター・アドバイザー事業
A11	<input type="checkbox"/>	実地技術支援(工場訪問)
A12	<input type="checkbox"/>	共同研究
A13	<input type="checkbox"/>	研究成果発表会
A14	<input type="checkbox"/>	技術研究会・異業種交流会
A15	<input type="checkbox"/>	産学交流事業
A16	<input type="checkbox"/>	製品開発支援ラボ(貸し実験室)
A17	<input type="checkbox"/>	その他

運営面への要望等【複数選択可】		
番号		
B1	<input type="checkbox"/>	手続きの簡素化 ※
B2	<input type="checkbox"/>	利用時間の拡大
B3	<input type="checkbox"/>	機器の充実
B4	<input type="checkbox"/>	職員の質向上
B5	<input type="checkbox"/>	情報発信・情報公開の 充実
B6	<input type="checkbox"/>	料金の支払いに関して
B7	<input type="checkbox"/>	相談窓口対応に関して
B8	<input type="checkbox"/>	その他

※ 都産技研本部では、総合支援窓口を設置し、窓口一本化や複数相談への一括対応など、サービス機能の複合化を図っております。



「運営面へのご要望等」に関して、具体的なご意見等ございましたらお書きください	
(例) B1	〇〇〇の依頼試験の際の支払い手続きを、もっと簡単にしてほしい。

(2) 興味や関心のある分野・事業（サービス）についてお伺いします。

(A) 貴社で将来的に参入・強化したい分野がありましたらお答えください。

貴社で将来的に参入・強化したい分野 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	<u>環境・エネルギー</u> 具体例：環境浄化技術、電力省エネ技術、再生可能エネルギー等
	2	<input type="checkbox"/>	<u>生活技術・ヘルスケア</u> 具体例：感性工学、高齢者支援、医療機器等
	3	<input type="checkbox"/>	<u>機能性材料</u> 具体例：金属材料・航空宇宙用新素材・機能性薄膜等
	4	<input type="checkbox"/>	<u>安心・安全</u> 具体例：インフラ劣化診断、情報セキュリティ、ロボット等
	5	<input type="checkbox"/>	その他 ()

(B) 都産技研の提供するサービスで利用してみたいサービスがありましたらお答えください。

都産技研の提供するサービスで利用してみたいサービス 【複数選択可】	1	<input type="checkbox"/>	<u>海外展開支援（MTEP 含む）</u> 国際規格や海外の製品規格に関する相談や情報提供、海外の製品規格に適合した評価試験などの技術的な支援を行っています。
	2	<input type="checkbox"/>	<u>高度分析開発セクター</u> 機能性材料や環境対応の製品開発支援に加えて、製品の不具合原因の解析を行っています。
	3	<input type="checkbox"/>	<u>システムデザインセクター</u> デザイン開発支援、高機能な高速造形機による試作開発等、事業構想から販売促進まで総合的な支援を行っています。
	4	<input type="checkbox"/>	<u>実証試験セクター</u> 温度・湿度、劣化・腐食、振動・衝撃、電源・電気の評価、電気や温度の国際規格に準拠した品質評価、各種製品・材料の強度試験を行っています。
	5	<input type="checkbox"/>	<u>ロボット開発セクター</u> ロボット開発支援室とロボット走行試験開発室を開設し、中小企業のロボット事業を技術面からの支援を行っています。

(3) 導入希望の機器についてお伺いします。

(A) 今後、都産技研に新規に導入、または既存機器の更新をしてほしい機器がありましたらご記入ください。

新規導入・既存機器の更新してほしい機器名 【1 つだけ記入】	
上記機器の使用用途	記入例：有機ELの特性評価
上記機器の希望性能	記入例：0m ² 以上の製品が試験可能

(B) 小型の機器をレンタルできるサービスがある場合、利用しますか

小型機器レンタルサービスの利用意向 【1 つだけ選択】	1	<input type="checkbox"/>	利用する
	2	<input type="checkbox"/>	利用しない
	3	<input type="checkbox"/>	わからない
(1 を選択した方のみ) 具体的なレンタル希望機器名 【1 つだけ記入】			

ありがとうございました。返信用封筒へ入れて投函してください。

登録番号・26（本）21

平成26年 都産技研の利用に関する調査 アウトカム評価報告書

平成27年4月発行

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10

TEL：03-5530-2111（代表）

FAX：03-5530-2765

URL <http://www.iri-tokyo.jp/>